



全国で相次ぐ災害を教訓に

さいたま市は国の防災拠点として、積極的に役割を果たしています。

国の防災拠点都市 その役割を果たす

皆さまこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

今般の「大阪府北部地震」、平成30年7月豪雨」で亡くなられた皆さまへお悔やみを申し上げると共に、被災された皆さまへお見舞いを申し上げます。

さいたま市は、被災自治体である岡山県倉敷市を支援する埼玉県をペアにした「対口(たごう)支援」や広島県呉市からの要請に応え、保健師等の職員派遣や物資の提供、給水車の派遣など様々な支援を行っています。また、

区役所窓口等で募金等の呼びかけを行っています。

今後も被災地の皆さまに寄り添い、支援を行っていきたくと考えております。

私は様々な災害時に積極的に行動することで、国の防災拠点として位置づけられた本市の役割を積極的に果たしていきたくと考えております。

地域への強い思い 夏祭りで絆を深く

さて、今年の夏は炎暑が続いておりませんが、それにも増して「さいたまの夏」が燃えております。市長として市内各所で行われた夏祭り等に参



プロフィール 昭和37年3月生まれ。日本大学法学部卒業後、(公財)松下政経塾入塾(第7期生)。衆議院議員公設第一秘書、埼玉県議会(南6区見沼区)2期を経て、平成21年5月さいたま市長に初当選。平成25年5月得票を大きく伸ばして再選し、平成29年5月に過去最高得票、全区で第1位を獲得して3期目の当選。著書に「2010年霞ヶ関物語」(共著/二期出版)、「犯罪のない安全なまちをつくらう」(共著/埼玉新聞社)、「さいたま市未来創造図」「スポーツで日本一笑顔あふれるまち」「もっと身近に もっとしあわせに」(埼玉新聞社)などがある。さいたま市社会福祉協議会会長、全埼玉私立幼稚園PTA連合会会長、共栄大学客員教授ほか。2013マニフェスト大賞首長グランプリ受賞。



みなさんと一緒に夏祭りを楽しみました

米ピッツバーグ市を訪問

姉妹都市20周年の記念事業などに参加



表敬訪問し、パデット市長と固い握手を交わしました

清水勇人市長は7月23日から6日間、さいたま市の姉妹都市であるアメリカ合衆国ピッツバーグ市を表敬訪問し、姉妹都市提携20周年記念事業などに参加して参りました。

現地では、姉妹都市同意書の更新を始めとして、各種の公式行事やピッツバーグ地域連合等を訪問しました。

また、ピッツバーグ市を代表する高等教育機関で、全米を代表する有力大学であるピッツバーグ大学アジアセンター所長のジョセフ・オルター博士、またカーネギーメロン大学政府関係部門副代表のティム・マクナルティ氏らとそれぞれ意見交換を行いました。

さいたま市は現在、平成31年4月の開校を目指して大宮国際中等教育学校の準備を進めています。今回の意見交換では、外国人留学生の動向や国際バカロア資格取得者の入学実績、入学者選抜に対する考えなどについて積極的な意見交換を行いました。



姉妹都市委員会の歓迎会は屋外で



現地の企業も訪問しました



桜プロジェクトが進んでいます



姉妹都市同意書を更新。さらに友好を深めます

市民一人ひとりがしあわせを実感できるまち

topic1 都市連携

会津若松市と連携協定

観光やスマートシティなど推進

清水勇人市長は7月、福島県会津若松市と連携協定を結びました。観光や商工業の振興のほか、情報通信技術（ICT）を活用したスマートシティ推進などの分野で、お互いの強みを生かします。

観光では、市民交流を促す旅行商品などの開発を目指し、会津地方に乗り入れている東武鉄道を活用した広域観光ルートの設定などを想定しています。また、商工業ではさいたま市主催の展示会への出展、大型店への会津地場産品の常設コーナー設置などを計画します。

スマートシティでは、さいたま市が会津若松市の地域情

報ポータルサイト「会津若松+（プラス）」などの取り組みを参考にします。

人口130万人のさいたま市、12万人の会津若松市がそれぞれの強みを生かし、戦略的な連携を目指していきます。



イオンモール浦和美園で締結式。会津若松市の室井市長と協定書を手に固い握手



両市の強みを生かして戦略的な連携を目指します



仲人役となったイオングループ役員の梅本さんと



おめでとう!成人を歌声で祝いました



子どもたちとカードゲームで遊びました



宝来グラウンド・ゴルフ場オープン



地元シェフによる学校給食(宮前小学校)



かわいい誕生日カードに感激(東岩槻幼稚園)



上大久保中学校のチャレンジスクールを訪問



コーラスに参加して、自慢(?)の歌声を披露



子どもたちの真剣なまなざしに緊張します



2回目となるヨーロッパ野菜の料理コンテスト



子どもたちはどんなことにも興味津々。楽しいです

topic2 自転車のまち

超党派議連が「青空総会」 自転車活用推進法 街づくりを紹介



国会議事堂を背景に、ご挨拶しました



多くの加盟議員が詰めかけました

超党派の国会議員でつくる自転車活用推進議員連盟（議連会長・二階俊博自民党幹事長）は6月、議連や関係省庁の関係者らを集めた「青空総会」を国会議事堂周辺で開催しました。自転車活用推進法の「自転車活用推進計画」が閣議決定されたのを受けたものです。

さいたま市は、この催しにPRブースを出展しました。会場には、自転車メーカーを始めとしてシェアサイクル企業などのテントと並びました。

さいたま市は、自転車を利用しやすい環境整備を図る政策のパネルや、ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの写真など、独自に進める取組等について紹介。清水勇人市長自らが国会議員へ本市の取り組みを説明しました。なお青空総会への出展は、自治体初となります。



「自転車のまち」をしっかりPR

topic3 子育て支援

子育て相談の総合拠点 子ども家庭総合センターがオープン



あいぱれっとの外観

4月、JR与野駅東口に「子ども家庭総合センター（あいぱれっと）」がオープンしました。子どもや家庭を取り巻く課題を総合的に支援する施設です。子どもや若者がどんな悩みでも相談できる「なんでも子ども相談窓口」や「なんでも若者相談窓口」を設置して、ワンストップで受け止めます。また、児童相談所、こころの健康センター、男女共同参画相談室、総合教育相談室等の専門相談機関を集積し、連携しながら様々な相談に対応します。



専門の相談機関が集積しているだけでなく、親子で楽しめる魅力的な遊び場もたくさんあります。子育てファミリーや若者たちのオアシスのような施設になってほしいと思います

日本一地域の絆で結ばれたまち

